

京都教区時報

第240号

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
0775-27-6800
(滝野)

2頁 みことばをかこう 書道・絵画展



みことば

十一月十六日から二十三日までは聖書週間です。普段聖書に親しむことはもちろんですが、特にこの機会に聖書と親しむことが勧められます。

「公会議は、すべてのキリスト信者にしばしば聖書をひもといて、『イエス・キリストの崇高なる知識』を学ぶよう、特別にまた強く勧める。『実際、聖書を知らないことは、キリストを知らないことである』。それで、喜んで聖書に親しまなければならない。それは、神のことばに満ちた典礼により、あるいは、信心をもって朗読することにより、あるいは、そのためにもふさわしい講座、その他教会の司牧者の承認と指導の下に今日いたるところで行なわれて好評を受けているいろいろの方法によることができる。しかし、聖書を読むにあたっては、神と人間との会話が出来るよう、それに祈りを加えることを忘れてはならない。実際、『われわれは祈る場合は、神に話しかけ、神のことばを読む場合は、神の話聞く』のである。」(啓示憲章25)

(写真は唐崎教会でのみことば書道展出品制作風景です。)

みことばをかこう書道・絵画展

今年も、聖書週間行事としての「みことばをかこう書道・絵画展」が、十一月十四日～二十五日まで、西院カトリック会館ホールで開催されます。又、昨年同様三重県カトリック研宗館でも開催予定しています。

昨年は、今までと異なり出品料なしで募集しましたところ、様々な学校からの児童（高校生を含む）の作品が寄せられ、よい傾向と喜びました。

例えば、賢明女子高校、百合学院高校、小林聖心女子高校などが、毎年の出品校（聖家族女子高校、ノートルダム学院小学校）に加わ

りました。沖縄の海星小学校の力作が、沖縄祭のために出品されず残念でした。

出品数は、絵画が二十五点、書道は成人が百七点、児童が二百二十七点でした。カテキスタの上本白水先生の特別出品も会場を豊かにして下さいました。ドミニコ幼稚園児の絵画の合作数点も心に残りました。

児童の作品は年々上達し、入選作品が八十三点にのびりました。「入選」が一生命、みことばをかけた児童生徒の励みになればと願っています。



マリアとヨゼフの子

St 石崎の講演

聖書講座シリーズ「イエスと
「は誰？」の講演要旨です。

マリアとイエスとヨゼフという
三人の生活は、一言で言えば「し
がない暮らしの家族」だったと言
えると思うのです。明日の生活に
困るとかではないが、いわゆるつ
つましい生活を送る「庶民」だっ
たのです。現在、私たちの身分と
か地位は職業であらわされること
が多いのですが、当時のイスラエ
ルでは職業を持っているというこ
とは、お金持ちでも身分が高いこ
とでもないという証拠だった。だ
から、私たちが地位とか職業で判
断するならば、三人は軽く見られや
すい仕事をしていたそういう家族
だったと言えらると思います。それ
は、ごく平凡な私たちの日常性と
かわらない生活を送る家族が「ガ
リラヤのナザレ」にいたというこ
とです。

●マリアとヨゼフ

私はこの二人は過去のある男、
過去のある女と思うんです。つま
りなにかという、結婚するまで
に、聖書をみても分るよう
に二人には歴史がある。過去があ
るといふことはすでに生きた時間

があり、空間があるということ、
それは重要な意味をもって結婚生
活に入り込んでくるという意味で
す。

一つは、マリアがお告げをうけ
るところから始まります。それは、
マリアが身ごもったことが分かっ
た時にヨゼフも悩まなければなら
なかったこと。この出来事は、ヨ
ゼフにとって単なる大きな事件で
はなく、神との関わりの中で起こっ
ただけに確信がなくとも信じるし
かなかった。そのくらい神との関
わりの中での出来事は最後は信頼
しかないということではないでしょ
うか。それは、私たちがふりかか
る出来事に信頼を賭けるか、賭け
ないか問われてくることだと思っ
ます。

マリアもそうです。ガブリエル
のお告げを受けるところをみてく
ださい。彼女は、話を聞きとまど
い、思いめぐらし、深め、受け入
れます。このように、二人は結婚
前に大きな課題を半分信頼によっ
て解決し、残りの半分はこれから
の課題として背負っていくことにな
るので。

さらに、二人には赤ちゃんが生

まれる。命が与えられる。しかも
それが神の命だとしたら二人には
大変大きな体験だったと思います。

それぞれから学んでいたのではない
かと思えます。だからこそ、二人
は協力しなければならぬし、共
に歩むという姿勢をとることにな
るのではないのでしょうか。そこ
には、信頼があり、愛情があり、さ
らには、神に結ばれた人たちのな
りです。この絆を二人は強く持つ
ていたと思います。

まず、出産の出来事、この話は
夫婦の共通体験の話です。それか
らその後の羊飼いと天使の話は
ちよつと違います。何が違うかと
言いますと、この話は体験ではな
く、体験を分かち合つて聞いた話
なのです。このように夫婦の共通
体験には実際に二人が体験した話
と、他の人が体験したことを分か
ち合い、他の人を巻き込んで二人
が聞き、さらに思いめぐらすこと
によって深められた話と二種類あ
ります。だから、イエスにまつわ
る話は人々が関わってきた話ある
と純粹に夫婦が関わった話がある
ことになると思います。

それから、いたわりや、コミュニ
ケーションということも大切に
されていたのではないのでしょうか。
特にマリアは家族に対して、心を
配っていたと思います。私たちが
マリアのようにきめ細かい配慮を
心がけたほうが良いと思います。

●夫婦の生活

これは私の想像ですが、神様が
二人の上に働いていることは周知
のことですが、二人が神の摂理を
委託されていることと同時に、神
に向かつて働きかけるといふ二つ
のことをマリアとヨゼフは二人の
共通の価値観として大事に持って
いたのではないかと思います。そ
れから、二人はお互いの違い、男
女の違いとか、そういう違いをそ

●親子関係

ルカ2・39をみてください。
この箇所から分かることは、二
人が子離れしなければならぬ時
が来たということです。また、マ
リアの役目として見守るといふこ
とと、子どもの個性を見抜いて育
てていたのではないのでしょうか。
このような、マリアとヨゼフの
生活を学びたいなら、まず、親し
くなり、甘えるような気持ちで祈
ればどうでしょう。私は想像しま
す。イエスは二人の子ともで良かっ
たと思われているのではないでしょ
うか。

アジアの中の日本の役目は？

●アジア体験学習とは？

一九八一年から毎年八月に、フィリピンのインファンタという小さな町の教会で宿泊し、その間約五日間、村でホームステイをしてきました。現地ではインファンタ教区のフランシス・ルカス神父様と教会のスタッフの人たちが迎えてくれます。この体験学習は、観光旅行でも援助活動でもありません。

目的は、一言では言えませんが、とりあえず、いってみて、現地の人々と生活を共にして、人とのふれあいを通して、視野を広げる場所であったり、自分のもっている価値観を見直すための場所であったりします。結果として、メンバーそれぞれがいろいろな感じ方をし、その体験を生かし、アジアのなかの日本人となっていくきます。

●ICDAIについて

アジア体験学習と切り離すことができないものが、このICDAI（インファンタ共同体開発運営団体）です。一九六七年、インファンタ教区のラバイエン司教の協力の下、イエズス会のエルキスト・

モンドネド神父によって始められました。現在はフランシス・ルカス神父とブラザー、現地の人々によって運営されています。

その目的はインファンタ教区を中心とした地域の自立です。キリスト教精神を基礎に、農民の組織づくり、共同組合づくり、栄養改善と保険計画など具体的な活動が行われています。

わたしたちは、実際にICDAI I実験農場で農作業を体験したり、農業技術開発のための取り組みを見学したりしました。

●体験を通して

さまざまな体験をしてきました。その中には、日本人にとってきついことであったり、違和感を感じることもありました。しかし、そのことを通して、わたしたちはフィリピンについてより一層、理解を深めることができました。

例えば、

●ホームステイ

わたしたちのホームステイでは、待遇が特別あつかいというわけではありませんでした。こちらから話しかけない限り、独りぼっちで



した。しかし、ホストファミリーの行動や待遇は家族の一員として、自然に接してくれて、わたしたちも真のホームステイができた所から、フィリピン人の視線に近づくことができました。

●時間にルーズ

フィリピンは時間にルーズでした。空港の時計でさえも、場所によって十分ほど異なっており、日本人のわたしたちには、かなり不快でした。また、朝食の時など、前日に六時三十分レストランに行つて食事をするように聞いていたのに、実際朝になってみるとその時間には、まだ、そこが開いてなかったことなどはよくありまし

た。しかし、フィリピンでは、日本ほど時間に追われず、時がゆっくり流れています。交通渋滞や情報通信の整備が遅れていることなどの原因があることに気づいたとき、その社会や文化を表面で判断することは理解につながらないことを学びました。

ホームステイそれ以外にもとても楽しい時間を過ごしました。いろいろなことをメンバーそれぞれが、真剣に考える機会もたくさんありました。そういつたことを通して、メンバーも人と人とのふれあいの大切さを学びました。



みなさんへ
 ◎人とのコミュニケーションとは何か？
 ◎楽しい時間を過すのにお金は必要なんだろうか？
 考えてみて下さい。
 ●アジア意識
 しかし、この体験で痛感したことは、日本人のアジア意識というものではない。日本人の意識の中には、どちらかと言えば、アジアだけどアジアではないという曖昧な意識があります。
 例えば、日本人とフィリピン人との間の認識の違いを上げるならば、
 ●日本人

フィリピンと聞けば、買春と思いがちで、また、日本がフィリピンを占領していたことを知らない人もいます。ましてや、当時、現地の人々に対して残虐な行為をしていたことを知っている人はほとんどいません。
 ●フィリピン人
 戦争中、日本人はフィリピン人を百十万人殺害しました。歴史の教科書を通して日本との関係を学んでいます。また、近年では、日本の森林伐採によって洪水が起り、たくさんの人々が命をおとしました。フィリピン人にとって日本という国は、過去、現在、未来において特別なアジア人と思っています。
 体験中、日本が戦争中にしたことをたくさん聞く機会がありました。そのたびに、ものすごく恥ずかしい思いをしました。
 日本とフィリピンの間には深い溝があります。この溝（日本のアジア意識）をはやく埋める努力をしないとアジア諸国から取り残されてしまいます。
 「アジアの中の日本の役目は何だろうか？」ということをもう一度考え直してみて下さい。

司祭評議会の報告

九月二十五日に新司祭評議会が招集されました。司祭評議会の司教を助ける諮問機関としての役割は、予定されている教区カトリック協議会設立後も変わりありません。

尚、議長及び常任委員の選出は、評議員の三分の二以上の出席がないたためできませんでした。大塚司教より、仮議長として村上（真）師が任命されました。

◆評議員の紹介

●司教総代理 村上（真）師
 ●京都南部地区東ブロック代表

- ポアベール師
- 京都南部地区北ブロック代表 浅田師
- 京都南部地区西ブロック代表 マルコ師
- 京都南部地区南ブロック代表 東門師
- 京都北部地区代表 谷口師、大松師
- 滋賀地区代表 ジャクソン師、滝野師
- 奈良地区代表 松本師、オヘル師
- 三重地区代表 イラオラ師、ネリグ師
- 福音センター代表 柳本師

気候フォーラム宗教者の集い

平和と祈りの行進

日時 1997年12月7日（日）
 午後4時～6時
 場所 カトリック河原町教会
 主旨 本年12月1日から10日まで、国立京都国際会館において「気候変動に関する国際連合枠組条約第3回締約国会議」いわゆる「地球温暖化防止京都会議」が開催されます。この機会に世界の諸宗教の方々と共に「地球温暖化防止」のために祈り、具体的な行動指針のステートメントを発表しその後、河原町三条から八坂神社まで「平和と祈りの行進」を気候フォーラム、京都府宗教連盟、NCC、WCRP、カトリック中央協議会と共に計画しています。みなさまのご参加を切にお願いします。

京都キリスト教協議会

福音を説くイエス ルカ4章

西経一神父の講演

聖書委員会主催で九月七日に
行われた聖書講演会の要旨で
す。

ルカ4章にしたがって、福音を
説くイエスについて述べてみたい。

●4章の構造

荒れ野の試み(1~13)

ガリラヤでの宣教活動(14~15)

ナザレの説教(16~30)

二つの奇跡(31~41)

宣教開始(42~44)

●救いの歴史のパターン

荒れ野の試みについては省略し、
ナザレの説教を見てみよう。

16節~18節にイザヤ61・1の引
用がある。これはバビロンの捕囚
の最中にあるイスラエルに向けて
書かれた慰めと励ましを述べる箇
所である。

それは強いバビロンの捕囚から
解放されエルサレム帰還の希望を
うながすものである。

ここに一つのイスラエルの救い
の歴史を流れる基本的なパターン
がある(苦難—解放—約束の実現)。

イスラエルの民の基本的な体験
はエジプトの奴隷状態—解放(出
エジプト)—約束の地への過越に

ある。

この体験はくり返され、バビロ
ン捕囚—解放—エルサレム帰還と
なって現れる。

これは創造物語の中にある「暗
闇—光あれ(との言葉)—光」、
そして、人間の創造における「泥
(アダマ)—息(ルアー)—人(ア
ダム)」の中にも現れ、そこには
共通して中心的な働きをするもの
として、神の言葉、力、愛がある。

闇から光へ、泥から命へ、苦難
から解放へ、死から命へと導かれ
るのは神である。

この基本的なパターンは歴史を
通じてくり返されていく。

●死から命への過越

さて、イエスは「死、泥、
暗闇」に御自分の十字架を重ねら
れた。主の十字架と復活は、死か
ら命への過越であり、新しい創造
であり、これこそ私達人間の「生
きる」こと(「生かされること」)

の根源にあるものなのです。これ
を知ることは、大きな慰めと解放
の出発点となる。この神とイエス
との関わりに、自分を自分の心の
どこかにどんと置けばよい。そこ

に心の慰めが得られ、そこに謙虚
な才能が生れ、そこに奉仕が生れ
る。

●自己を破る

私達が神への信仰により、死か
ら命へ、復活へと変えられるのだ
という信仰を持って、私達は旅を
している。今の自分から、自分を
「破って」出て行く。そして、こ
の集団が旅する教会でもある。

ここで「破る」というテーマが
出て来る。「破る」、「自分を破る」
という事は「血が出る」。この事
は古い人を脱ぎ捨て新しい人とな
ることもある。

血を流さなければ愛は生れない。
愛とは出会う人のため、身を引き
裂き、時を裂き、心を裂くこと。

これは私達の神である主の愛の
表わし方であり、私達はその同じ
運命をになうものとして、それを
引き受けなければならぬ。

その様な愛にとらわれている時、
神の愛にとらわれ、一切の解放を
得ている。この様な愛に一致させ
るなら、まるごと神のものとなる
だろう。ちなみに、聖体のパンは、
この引き裂かれた愛のしるし、ぶ
どう酒もつぶされ、閉められ、く
さらされるのも、その愛のしるし
なのです。

●イエスの言葉と行い

身内に受け入れられるのはなか
なかむずかしい。ところで、読ま
れたのはイザヤの書。それに続く
二つの説教がある。二つとも奇跡
物語の典型的な形が見られるが、
その中で中心になるのは、「イエ
スの言葉と行い」である。

そこに、いやしと解放と救いが
ある。

自分にとって何が目的か、自分
で力んで求めすぎると無意味にな
る。無意味と思う所に命を捧げる
と、そこに愛がある。

御父はお返しを待たずに御子を
世に投げ込まれた。そこに愛があ
る。

私達はイエスの言葉と行いによ
り変えられる。そして、自分をど
う思っているかによっても変わっ
てくる。

●宣教

イエスの言行により私が生かさ
れた。そのあとに出て来るものが
ある。それが宣教。4章は宣教で
しめくられる。

預言、イエスの言葉、イエスの
行いにより変容され、生かされた
私が宣教に遣わされていく。

お知らせ

三重研宗館の行事

◆暮しの中のカウンセリング 毎月曜日10時

◆茶道教室 毎木曜日13時

◆ワークショップ 1日(土) 5日(水)。毎日9時〜17時。宿泊可。指導||プロレドニヤック師。

◆テーマ||自己発見から神へ。申込0592(28)2580津教会

◆聖書講話 2日(日)9時津教会

◆会ミサ||15時。講師||石川康輔師。

◆テーマ||イエスに学ぶ。「希望の扉を開く」について

奈良地区の行事

◆奈良教会バザー 2日(日)

◆大和郡山教会バザー 2日(日)

◆正義と平和奈良協議会・一日研修会 3日(月)10時〜16時。高

の原・野外礼拝センター。テーマ||一年間の反省と課題

◆奈良カトリック大会||大塚喜直司教様を迎えて。9日(日)13時〜16時。高の原・野外礼拝センター

◆奈良県結婚互助会 16日(日)ミサ後。大和八木教会

◆初聖体 23日(日)。奈良教会

◆黙想会 29日(土)〜30日(日)。大和八木教会。指導||ルカス師

◆故トニー・グリーン神父追悼ミサ 30日(日)9時。登美ヶ丘教会

◆黙想会 30日(日)。富雄教会。指導||柳本師

滋賀地区の行事

◆故アルフレッド・スミス神父の墓の祝別・納骨式・追悼ミサ 2日(日)14時。彦根教会墓地

◆びわこウォーカーソン 3日(月)。

◆滋賀協議会主催

◆墓地ミサ 3日(月)。草津教会

◆中学生合宿 15日(土)〜16日(日)。草津教会

◆草津教会青年部主催黙想会 22日(土)17時〜23日(日)17時。

◆集合||15時草津教会。カルメル会

◆宇治黙想の家。指導||中川博道師。四千五百円。テーマ||自己発見・自分を知る。申込16日まで0775(62)3510山田

◆滋賀カトリック協議会例会 23日(日)13時30分。唐崎教会

京都北部地区の行事

◆京都北部協議会常任委員会 中旬。議題||信徒大会の反省

◆死者のミサ 3日(月)。西舞

◆鶴教会十字架山の墓地にて
◆鷹取教会へ巡礼小旅行 3日(月)。東舞鶴教会

京都南部地区の行事

◆朝禱会 毎火曜日7時〜8時。

◆夕禱会 第2月曜日6時30分ミサ後19時。河原町教会。食事及び雑費||三百円。

◆聖マリア養護学校バザー 2日(日)

◆一般追悼ミサ 2日(日)。河原町教会

◆納骨堂合同祈念日 2日(日)。

◆西陣教会

◆京都南部ウォーカーソン 3日(月)

◆希望の家バザー 9日(日)

◆SVP例会 9日(日)。河原町教会

◆追悼祈りの会 10日(月)。ノートルダム中高等学校

◆信睦二金会 14日(金)。西陣教会

◆親交会例会 16日(日)10時30分。河原町教会ミサに出席。後懇談。会館6階和室

◆在世フランススコ会京都兄弟会例会 16日(日)13時30分。フランススコの家

◆SVP京都中央理事会 23日

(日)。河原町教会
◆糠みその会 27日(木)。九条教会

◆コロチェレステ練習日 第2第4木曜日10時。河原町教会

西院カトリック会館行事

◆おてんとさんの会 毎火曜日13時〜16時30分。会費二百円

◆すみえ教室 第2・4木曜日13時30分〜15時。講師||St野元品子。会費二千円(二回分)と教材費

◆聖書研究と手話の勉強 毎木曜日19時30分

◆Stアスタの書道教室 毎金曜日13時30分。月謝三千円

◆雑学講座 5日(水)10時30分。テーマ||温泉地。資料代五百円

河原町カトリック会館行事

◆カナの会例会・結婚相談室 2日(日)13時受付。13時30分〜15時

◆レジオ・マリエ京都コミチウム 16日(日)12時30分

◆一万匹の蟻 19日(水)19時

◆Stドローレスの聖書講座 21日(金)10時30分

◆京都カトリック混成合唱団 22日(土)19時、30日(日)14時

◆キリシタン研究会 23日(日)14時

教区スケジュール

- 11月
2日(日) 大津教会・安曇川教会
司教ミサ
2日(日) 衣笠墓地・大日山墓地
合同墓参
6日(木) 司教全体集会
9日(日) 田辺教会司教ミサ
9日(日) 奈良県カトリック大
会・大塚司教出席(野外礼拝
センター)
13日(木) 司教顧問会
15日(土) 聖家族女子高等学校司
教ミサ
15日(土) 16日(日) 教区協議
会準備会
20日(木) 洛星中高等学校追悼ミ
サ・司教司式
22日(土) 松阪教会司教ミサ
23日(日) 伊勢教会司教ミサ
23日(日) 教区一斉京都教区創立
記念ミサ・アジア交流の日
24日(月) 尾鷲教会創立四十周
年・司教ミサ
27日(木) 司教評議会

お知らせ

◆婦天 相馬信夫司教(元名古屋
教区長) 81歳10月6日

◆人事異動

- ◆富雄教会担当司教(9月25日付)
チネカ師(フランシスコ会)
◆西舞鶴教会主任司教(10月1日
付) 大松正弘師(レデンプト
ル会)

- ◆唐崎教会在住ハイメ・ラレス師
(グアダルベ宣教会)
◆亀岡教会在住ホセ・モンロイ師
(グアダルベ宣教会)
◆イエズス会の棚町師は東京の聖
母病院に入院されています。お祈
り下さい。

- ◆福音センター養成コース
▼祈りのコース2 14日(金) 16
日(日)。唐崎ノートルダム祈り
の家。内容 自分への気付きから
神へ。キリストとともに歩む。定
員十四名。一万八千円。申込07
5(822) 7123

◆地球環境を考える会より

この号が発行される「COP・
3」一カ月前の京都はどんな雰囲
気ででしょうか? これを書いてい
る時点、九月末の新聞には、「知
名度低い京都会議」の記事と「八
割の人が地球温暖化を心配してい
る」という記事が並んでいます。

「COP・3」を盛り上げ、削
減数値の採択に圧力をかけようと
いうNGOのイベント企画は、京

都を舞台に目白押しです。ただ座
して心配しているのではなく、ま
た一過性のお祭り騒ぎでもなく、
今こそ、キリスト者が信仰の証し
として、発言と行動をする時だと
思うのですが……。(宮西いづみ)

◆正義と平和京都協議会学習会
聖書と信条―教会における『聖
書』の位置づけをめぐって。お話
―桑原重夫さん(日本基督教団牧
師)。15日(土) 19時。河原町会
館6階。無料

「聖書の中の差別」とか「聖書
の中の解放のメッセージ」とか
いうことがよく言われますが、その
前にまず、教会の中で「聖書」が
どうとらえられているのかという
ことが問われるべきではないでしょ
うか。もちろん専門家による解説
とか、教会は聖書をこうとらえて
いる、などというレベルではなく、
ごく一般の信徒の意識の中での話
です。―聖書と信条からの解放
―そんなイメージをさぐってみ
ませんか?

◆ポランティア養成基礎講座
21日(金) 10時~11時30分。田辺
教会。テーマ 人間関係。講師 廣
岡洋子先生。参加費 八百円。
主催 聖カタトリックポランティア奈
良連絡会。連絡 0742(47)

1298 西原エツ子

◆東朝子チャリティコンサート・
ネパールの子供たちに愛を
(ノートルダム教育修道女会の教
育活動援助のために)

12月7日(日) 15時。北白川教
会。出演 ソプラノ・東朝子、オ
ルガン・大西久美、フルート・初
田茂子、ハーブ・山根ひろみ。曲
目 「アウエマリア」他クリスマス
ス曲。二千円(当日二千三百円)。
連絡 075(781) 2049 東、
075(211) 6505 田中

◆「一万匹の蟻運動」基金報告
累計 16,476、425円

加入者 865名

(9月16日現在)

◆編集部よりお知らせ

お知らせに載せたい情報は、12
月号でしたら11月2日までに、1
月号でしたら11月30日までにFA
X 0775(27) 6800にお
願います。

◆電話番号情報コーナー

▼いのちの電話(相談窓口)

075(864) 4343

0742(35) 1000

052(971) 4343

▼京都市東九条在宅介護支援セン
ター(24時間体制)

075(662) 3971